

練習課題 NO.4

設計課題「商店街に建つコミュニティ施設〔鉄骨造(純ラーメン構造)2階建〕」

1.設計条件

ある地方都市の商店街にコミュニティ施設を計画する。
計画当たっては、次の①、②に留意すること。

- ① 玄関ホールに日当りに配慮した休憩コーナーを設け、商店街来客者が気軽に利用できるよう計画する。
- ② 敷地内の南側にコミュニティ広場を設け、多目的室と一体的に利用できるよう計画する。

(1)敷地

- ア. 形状・道路との関係、方位等は、下図のとおりである。
- イ. 近隣商業地域にあり、防火・準防火地域の指定はない。
- ウ. 建ぺい率の制限 80%、容積率の限度は 200%である。
- エ. 地形は平坦で、道路及び隣地との高低差はなく、地盤は良好である。
- オ. 電気、都市ガス、上水道及び公共下水道は完備している。

(2)構造及び階数

鉄骨造(純ラーメン構造)2階建とする。

(3)延べ面積

260㎡以上、290㎡以下とする。(ピロティ、玄関ポーチ、コミュニティ広場、バルコニー、屋外階段、駐車スペース等は、床面積に算入しない。)

(4)人員構成

受付兼事務担当 2人

(5)所要室

	所要室	特記事項
1階	玄関ホール	ア. 35㎡以上とする。 イ. 出入口の幅の内法は、1200mm以上とする。 ウ. 休憩コーナーを設け、10席以上の椅子を配置する。 エ. 自動販売機を設置する。
	多目的室	ア. 35㎡以上とする。
	事務室	イ. 屋外のコミュニティ広場と一体的に利用する。 ア. 15㎡以上とする。
	便所	イ. 受付カウンター、湯沸コーナーを設ける ア. 男女別に設ける。 イ. 車いす使用者用便所を1室設ける。 ・ 広さは、心々2000mm×2000mm以上とする。 ・ 出入口の幅の内法は800mm以上とする。
2階	サークル室(2室)	ア. 可動間仕切りにより、1室としても利用できるようにする。 イ. それぞれ15㎡以上とする。
	会議室	・15㎡以上とする。
	集会室	ア. 和室12畳以上とし、押入を設ける。 イ. 履き替えを行う踏込みを設ける。
	倉庫 便所	・4㎡以上とする。 ・男女別に設ける。
(全体にかかわる特記事項)		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 1階と2階は、階段の他にエレベーター(1台)で連絡する。 ・ 高齢者・身体障害者等の利用に配慮した計画とする。 		

(6)建築物の最高の高さ等

建築物の最高の高さは、10m以下、かつ、軒の高さ9m以下とする。

(7)屋外施設

- ア. 敷地内に小型乗用車(5人乗り)1台分の駐車スペースを設ける。
- イ. 自転車10台分の駐輪スペースを設ける。
- ウ. 敷地内の南側に70㎡以上のコミュニティ広場を設け、道路から直接アプローチできるように計画する。

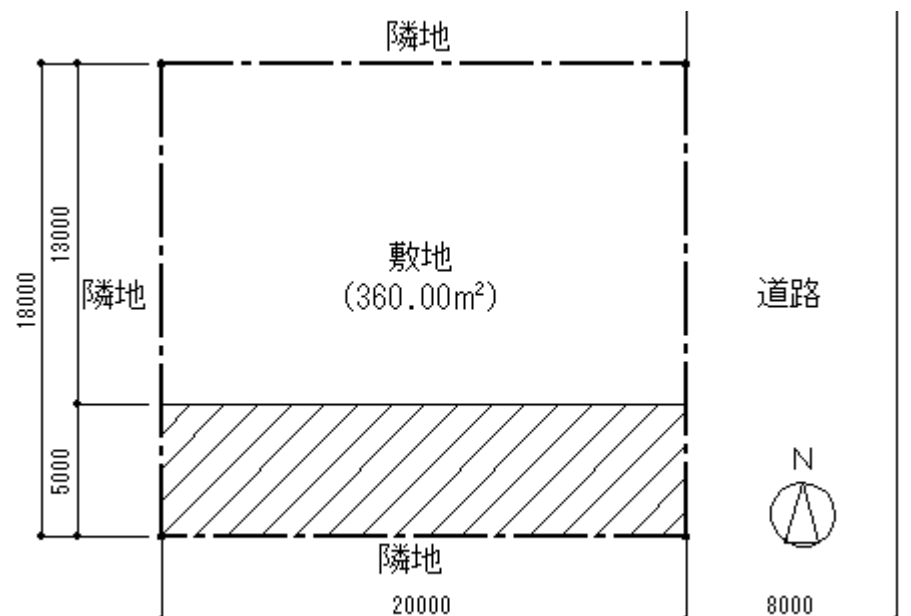
(8)その他

- ア. 建築物内に、油圧式エレベーター1台を設ける。
 - ・ エレベーターシャフトは2000mm×2000mm程度とする。
 - ・ 機械室は1階に設けることとし、エレベーターシャフトと離して設けてもよい。
 - ・ 昇降ロビーの幅は、内法を1800mm以上とし、出入口の幅の内法は、800mm以上とする。
- イ. 建築物内又は敷地の通路において高低差がある場合は、必要に応じてスロープ(勾配1/15以下)とする。

2.要求図面等

- a. 下表により、答案用紙の定められた枠内に記入する。ただし、寸法線は、枠外にはみだして記入してもよい。
- b. 図面は黒鉛筆仕上げとする(定規を用いなくてもよい)。
- c. 記入寸法の単位は、mmとする。なお、答案用紙の1目盛は、5mmである。

要求図面等 ()内は縮尺	特記事項
(1)1階平面図兼配置図(1/100)	ア. 敷地境界線と建物との距離、建物の主要な寸法を記入する。 イ. 1階平面図兼配置図に、塀、植栽、コミュニティ広場、駐車スペース等を記入する。 ウ. 室名を記入する。 エ. 所要室には、下記のものを記入する。
(2)2階平面図(1/100)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 玄関ホールに椅子 ・ 休憩コーナーに自動販売機 ・ 事務室に受付カウンター、机、椅子 ・ 会議室にテーブル、椅子 ・ 便所に便器、洗面器 ・ 湯沸コーナーに流し台、コンロ台 オ. 2階平面図に、1階の屋根伏図(平屋部分がある場合のみ)も記入する。 カ. 断面図の切断位置を記入する。
(3)立面図(1/100)	・南側立面図とする。
(4)断面図(1/100)	ア. 切断位置は、玄関ホール及び多目的室を含み1階・2階それぞれの開口部を含む部分とする。 イ. 建築物の外形及び床面、天井面の形状がわかる程度のものとし、構造部材(はり、スラブ、地中ばり、基礎)を記入する。 ウ. 建築物の床高、天井高、階高、軒高、最高の高さ、開口部の内法寸法及び主要な室名を記入する。
(5)面積表	ア. 建築面積、床面積及び延べ面積を、答案用紙の面積表に記入する。 イ. 建築面積及び床面積は、計算式も記入する。 ウ. 数値は、小数点以下第2位までとし、第3位以下は切り捨てる。
(6)仕上表	ア. 外部の主要な部位(屋根、外壁)の仕上材料名及び下地材料名を記入する。 イ. 内部(多目的室)の主要な部位(床、内壁、天井)の仕上材料名及び下地材料名を記入する



(注)斜線部分は、コミュニティ広場、通路、植栽、駐車等のスペースとし、建築物は計画してはならない。